



上田 裕佳様

Yuka Ueda



3歳からバレエを始めてから踊ることは私の一部となり、気付けばいつか年間留学をしたいという一つの夢に向かっていました。アメリカを主にいくつかのバレエ学校の短期留学へ参加しながら自分自身に合うバレエ学校を探していました。そんな中私のお友達がカナダのバレエ学校に留学することになり、カナダのバレエ学校にも興味を持ち始めました。ある時ビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)のオーディションが地元で開催されると知り、挑戦してみることにしました。そして初めてVABのディレクターのMs.Bellisと出会いました。ウォームアップクラスを彼女自身が指導して下さる中、彼女のバレエに対する情熱に触れて、この先生からもっと沢山の事を学びたい、学べるだろうと確信しました。VABの3週間のSummer intensiveへ参加した夏、私はその前にアメリカのバレエ学校の5週間の留学にも参加していたので、アメリカから直接カナダへ渡りました。飛行機から初めて見たビクトリアの美しい海は今でもはっきりと覚えています。無事にビクトリアへ到着した私ですが、その時残念なことに、アメリカの5週間の留学の間にパドドゥクラスで足首を捻挫していました。しかしVABのスタッフが直ちにフィジオを予約して下さり捻挫の状態を見てもらうことが出来ました。Summer intensiveを

通して、VABのしっかりと基礎を見つめ直せるレッスン、グループ作品のリハーサルでの繊細な部分までのトレーニング、今まで体験したことがなかったスタイルのコンテンポラリーダンス、そして先生方のエネルギーに満ちた指導に魅了されました。始めの一年間は英語が分からないことが多かったり、不安なことも多々ありましたが、高校でもVABでも沢山の人がサポートして下さいました。一日のスケジュールは、午前中は高校で勉強、午後からVABのレッスンへ向かいます。

高校は日本と異なり、自分自身が興味のあるものや教科に対する知識を主に深めていきます。先生方は一人一人に合った学びと経験を提供して下さい、自ら積極的に学ぶ姿勢が求められます。

VABではクラシック、コンテンポラリー、リハーサルを主に月曜日から金曜日まで夕方か夜までレッスンがあります。土曜日にはジャズなどのクラシック以外のジャンルのレッスンがあります。今まで経験したことがなかったチェックタイムソッド、コンテンポラリーのスタイルには始めは苦戦していましたが、自分の踊りに対するVocabularyが増えたことに喜びを感じています。また先生方の踊りに対しての情熱を感じながら日々レッスンに励むことが出来ていてとても幸せです。

ホストファミリーはとても優しく、何

か困ったことがあればしっかりとサポートして下さいます。私のホームステイは他の留学生もステイしていて、共同のキッチンやお風呂があります。食事に関しては朝とお昼は自分で用意し、夕食は毎日作って下さいます。週末はホストファミリーと食事をしたり映画を楽しむこともあります。クリスマスやイベントの日はみんなでゲームやパズルをしたりしてゆっくりと過ごします。長期休暇ではキャンプやハイキング、湖や森などの自然いっぱいの場所にも連れて行ってくれます。コロナが世界に広がり、一時はとても不安になったこともありましたが、私は帰国せずにビクトリアに留まることにしました。今ではビクトリアに滞在していて良かったと思っています。なぜなら自分に向き合う時間が増え、新しい自分を発見でき、今まで気付かなかった沢山の感謝すべきもの、与えられたギフトに気付くことができ、さらにVABの先生方とスタッフの方々の素晴らしい努力、私たち生徒への愛情を改めて感じる事ができたからです。留学を通して踊ることも英語もより好きになり、沢山の発見をしました。自分の好きなことを素晴らしい環境で出来ていること、家族を含め全てのサポートして下さいている方々がいることの幸せを忘れずに、これからも進んで行きたいと思います。